



Esquire

高級車としての存在感を表現するフロントグリル

生活を豊かに演出してくれるとともに、日々の利便性を高めてくれるコンパクトキャブワゴン(ミニバン)は多くの人の支持を得てきた。室内の居住性、使い勝手、低燃費に加えて高速走行も苦にならない動力性能など、あらゆる面で進化を遂げ、今や1台ですべてをこなせるマルチパーパスビークルとして揺るぎない地位を築いている。そのミニバンに、新たな要素である「プレミアム感」を盛り込んだのがエスクァイアだ。5ナンバーサイズ・ミニバンとしての使い勝手や経済性はそのままに、上質感あふれる素材をふんだんに使い、カラーコーディネートにもこだわってプレミアム感を演出。乗るたびに高級感に包まれ、落ち着いた空間に身を置くことのできるエスクァイアは、ひと言では語れないほどの魅力にあふれている。



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京 (03) 5777-2351 代表

トヨタ

エスクァイア

特集号



エスクァイア Gi (ハイブリッド車)
文／田畑 修(モータージャーナリスト) 写真／奥隅 圭之

ハイブリッド (JC08モード燃費)

23.8km/ℓ

※ガソリン車も免税



ウェルキャブ サイドリフトアップシート車(脱着タイプ)

使いやすいウェルキャブ



運転する人と乗る人はもちろん、介助する人のことも考えたウェルキャブ(福祉車両)にも注目したい。車いす仕様車の乗降スロープは収納時に前へ倒れる構造とし、バックドアからの荷物出し入れも可能で、使い勝手を妨げない構造となっている。また、車いす後側の固定は電動化し、介助の負担を軽減。車高降下機構はリアにエアサスペンションを採用することで、快適な乗り心地を実現するとともに車高昇降時の音も低く抑えている。また、車いす乗車が不要になったときにはボルトオンで取り付けられる後付けセカンドシートも用意。隅々まで配慮が行き届き、乗る人に優しいクルマとなっている。

エアロパーツは全車に設定



高級感を保ちながら、よりアグレッシブに存在感を強調するエアロパーツ装着車も全車に設定。縦型のメッキバーが大胆に配されたフロントグリルは、メッキ加飾のフロントスポイラーとセットで用意され、堂々としたフロントスタイルへと変身させる。メッキタイプのサイドマッドガードはサイドビューを引き締めるとともに低重心シルエットを強調。リアスポイラーは箱型のフォルムにスポーティ感を与え、メッキタイプのリアバンパースポイラーはサイドマッドガードとともに低重心感を印象づける。ドレスアップ感も満点のアイテムが用意されている。



エアロセットなど用品装着車

運転と乗車に加え、介助にも優しいクルマを実現



ウェルキャブ 車いす仕様車(スロープタイプ)

トヨタ Esquire 主要諸元表		ハイブリッド車(2WD)		ガソリン車(2WD/4WD)				
		Gi	Xi	Gi		Xi		“サイドリフトアップシート減速車”
乗車定員(名)		7		7	8	7	8	7
燃料消費率JC08モード国土交通省高値(km/ℓ)		23.8		16.0[14.8]		16.0[15.0]		16.0[14.8]
全長×全幅×全高(mm)		4,695×1,695×1,825		4,695×1,695×1,825[1,865]				
ホイールベース(mm)		2,850						
トレッド前/後(mm)		1,480/1,480			1,480/1,475[1,480]			
最低地上高(mm)		160			160[155]			
車両重量(kg)		1,620	1,610	1,570[1,660]		1,570[1,650]		1,650[1,730]
室内長×室内幅×室内高(mm)		2,930×1,540×1,400		2,930×1,540×1,400※		2,930×1,540×1,400		
エンジン	型式	2ZR-FXE			3ZR-FAE			
	種類	直列4気筒DOHC						
総排気量(ℓ)		1,797		1,986				
使用燃料・燃料タンク容量(ℓ)		無鉛レギュラーガソリン/55						
最高出力(ネット)kW(PS)/rpm		73(99)/5,200			112(152)/6,100			
最大トルク(ネット)N・m(kgf・m)/rpm		142(14.5)/4,000			193(19.7)/3,800			
モーター	型式/種類	5JM/ 交流同期電動機			—			
	最高出力kW(PS)	60(82)			—			
	最大トルク N・m(kgf・m)	207(21.1)			—			
動力用主電池 種類/個数/接続方式/容量(Ah)		ニッケル水素電池/28/直列/6.5			—			
トランスミッション		電気式無段変速機 Super CVT-i (自動無段変速機/7速スポーツシーケンシャルシフトマチック付)						
最小回転半径(m)		5.5						
タイヤサイズ		195/65R15						
ステアリング		ラック&ピニオン式						
ブレーキ	フロント				ベンチレーテッドディスク			
	リア	ディスク			リーディングトレーリング式ドラム[ディスク]			
サスペンション	フロント	マクファーソン・ストラット式コイルスプリング(スタビライザー付)						
	リア	トーションビーム式コイルスプリング(スタビライザー付)						

[]内は4WDです。※ツインムーンルーフを装着した場合、室内高は1,365mmとなります。
燃料消費率は、定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
メーカーオプションを組み合わせた装着した場合、車両重量、燃料消費率は異なります。詳しくはお近くの販売会社にお問い合わせください。

Esquire



躍動感と高級感を表現したエクステリア

室内の広さを連想させる箱型フォルムと、高級感のあるモダンデザインを高い次元で融合させたエスクァイア。大きな「T」字構えのフロントグリルが強い印象を与えながら、細かい造形のメッキ加飾が品格ある雰囲気醸し出している。高級セダンを思わせるこのグリルデザインと切れ長のヘッドランプ、Aピラーの付け根からリアへ伸びるボディサイドのステンレス製ベルトモールがアクセントとなり、箱型ボディに表情を与えている。リアに回ると、大きなリアウィンドウに浮かんだようにメッキモールが配され、リアコンベーションランプもウィンドウと一体感のあるデザインでフィニッシュ。プレミアム感あふれる仕上がりとなっている。

高級感を追求した上質なインテリア

細部まで本物感にこだわって仕上げられたインテリアは、エスクァイアの最も注目すべきポイントだ。シックな合成皮革を配したインパネとドアトリム、ピアノブラックで仕上げられたパネル類など、派手さを抑えながらもプレミアム感に満ちている。本革巻きと黒木目調加飾を組み合わせたステアリングホイールは握り心地にも配慮。メーターは照度コントロール付きのオプティロンメーターを採用し、上質感に加えて高い視認性により安全面にも貢献している。インテリアカラーは落ち着いたブラックをベースに、Giでは艶やかなバーガンディを組み合わせて高級感を演出し、Xiはブラック主体で仕上げている。居心地のいい室内空間は気持ちも落ち着かせてくれる。



オプティロンメーター



シフトノブ



広く使いやすい空間の魅力と躍動感やモダンデザインを両立



印象的な「T」デザイン



バックドアガーニッシュが広いキャビンを表現

新上級コンパクトキャブワゴン誕生

先進ナビと安全のための先進装備

8インチのワイドディスプレイを備える先進のカーナビゲーションシステムも用意される。エスクァイアの上質感あふれるインテリアにマッチし、多くの先進機能を備えたSDナビゲーションは、トヨタが提供する通信システムであるT-コネクトにも対応。ナビに話しかけるだけで目的地などを設定してくれる音声対話サービス、道路地図を通信で更新できるマップオンデマンドなどのサービスを受けることができる。また、ナビ画面で周囲の安全を確認しながら車庫入れなどをこなせるインテリジェントパーキングアシストも装備。OKボタンを押せば自動でステアリング操作を支援してくれる機構も備えている。



◀SRSエアバッグ(運転席・助手席)+SRSニーエアバッグ(運転席)/RSサイドエアバッグ(運転席・助手席)+SRSカーテンシールドエアバッグ(フロント・セカンド・サードシート)

パフォーマンスと環境性能、安全装置

エスクァイアは2.0ℓのガソリンエンジン車と、1.8ℓガソリンエンジン+電動モーターのハイブリッド車を設定。高効率バルブマチックエンジンを搭載した2.0ℓガソリン車は、高圧縮比化により高い走行性能と低燃費を両立。ハイブリッド車は23.8km/ℓとクラストップの低燃費に加え、エンジンとモーターによるスムーズな加速が満足度を高めてくれる。また、スポット溶接による補強、超高張力鋼板の採用などでボディの剛性を一段と高め、サスペンションも最適のチューニングを図ったことで低速域から高速域まで、優れた走行性能と乗り心地のよさを両立。安全性に関しても抜かりはなく、滑りやすい道などでも操縦安定性を保つS-VSCを全車に標準装備し、急発進を防ぐドライブスタートコントロールなども装備。すべての乗員が高い安全性能に守られて目的地を目指すことができる。



1.8ℓハイブリッドで優れた低燃費



Super CVT-i(自動無段変速機)

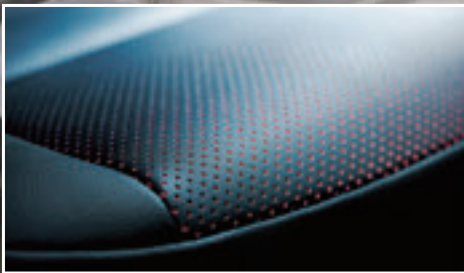
長年に渡る追求で磨き上げられた、ワンランク上の高級感と圧倒的な存在感

見晴らしよく、運転しやすい視界、シート表皮

メーターフードを低く抑え、インパネ上面をすっきりさせることで広い視界を確保。死角を減らす三角窓の効果により前方および側方の視界も確保し、大きいドアミラーにより後方確認も容易。見た目以上に運転しやすいミニバンとなっている。室内に目を移すと、シート表皮はGiではシックな合成皮革を採用し、凝ったカラーリングのドット加工に加え、昇温降溫抑制機能により夏も冬も快適に過ごすことができる。Xiは手触りのいい消臭機能付きのファブリックを採用する。



上質感にこだわったインテリア(Giハイブリッド車)



シート表皮(バーガンディ&ブラック)

シートアレンジと収納、快適装備

7人乗り仕様のセカンドシートに採用される独立キャプテンシートは、ロングスライドに加えて横スライド機構も備えており、乗車人数に合わせてさまざまなアレンジが可能となっている。広々とした足元スペースを得られる「スーパーリラックスモード」(4人乗り時)や、サードシートの乗り降りも楽々の「フリーアクセスモード」など自在に使い分けることができる。8人乗り仕様もセカンドシートの6:4分割チップアップ機構などにより、低床フラットフロアを存分に使いこなせる。また、乗る人の利便性を考えた収納スペースも豊富に用意されており、室内を常にスッキリ整理しておくことができる。ワンタッチ式の電動開閉スライドドアや、快適な温熱シート(運転席と助手席)、スマートフォンを置くだけで充電できる「おくだけ充電」(ハイブリッド車)など快適装備の充実度も高い。



サードシートもゆったり



ロングスライド量は580mm



キャプテンシートを採用



艶やかで深みのある室内配色

低床フロアパッケージ

2,850mmのロングホイールベースと低床フラットフロアにより、エスクァイアの室内は外から見た以上に広々としている。開口幅の広い大型スライドドアを開けて乗り込むと、室内高1,400mmのスペースは子供なら立ったまま着替えができるほどで、室内の移動も楽にこなせる。セカンドシート、サードシートともにレッグスペースは十分確保され、どの位置に座しても快適に移動することができる。また、低床フロアゆえに乗り降りもスムーズにでき、ステップを設けていないのでつまずきにくいのも嬉しい。老若男女に優しい作りとなっている。



前方が低く後方へせり上がる躍動的なベルトライン